

船内活動

約 40 日に渡り約 320 人の参加青年が船内で共同生活を送る。参加青年たちは互いの国や文化への理解を深めるだけでなく、一人ひとりの人間として本音で語り合い、心からの笑顔を共有して、一つの家族になっていく。



活動日程

月 日	10:00～11:15	11:30～12:45	14:15～15:30	15:45～17:00	19:30～20:45
11月 1日(木)				乗船	荷物移動
2日(金)	避難訓練	出国手続	船内公開	出航式	国別ミーティング
3日(土)	管理部オリエンテーション	GLミーティング/ディスカッション活動運営委員会/船内活動小委員会/プレス担当者連絡会			COCミーティング 自主活動
4日(日)	GLミーティング/ディスカッション活動運営委員会/ 船内活動小委員会/プレス担当者連絡会		写真撮影/船内見学(SG毎)		自主活動
5日(月)	管理官講話	船長講話	ディスカッション活動 (導入プログラム)		自主活動
6日(火)	フリーデイ(半日)		ディスカッション活動 (グループ・ディスカッション I)		日本紹介
7日(水)	ディスカッション活動 (グループ・ディスカッション II)		SG活動 (1)		カンボジア紹介
8日(木)	ディスカッション活動 (グループ・ディスカッション III)		自主活動		インドネシア紹介
9日(金)	ディスカッション活動 (グループ・ディスカッション IV)		PYセミナー活動紹介		ブルネイ紹介
10日(土)	ブルネイ訪問国活動				
11日(日)					
12日(月)					
13日(火)					
14日(水)	フリーデイ(半日)		訪問国活動振り返り<SG毎> (1)		自主活動
15日(木)	ディスカッション活動 (グループ・ディスカッション V)		SG活動 (2)		ラオス紹介
16日(金)	ディスカッション活動 (事後活動の企画・実践への導入)		ディスカッション活動 (事後活動の企画・実践に向けたワークショップ)		フィリピン紹介
17日(土)	フィリピン訪問国活動(マニラ) 代表団によるフィリピン訪問国活動(ダバオ)(11月18日(日)～19日(月))				
18日(日)					
19日(月)					
20日(火)					
21日(水)	フリーデイ				自主活動
22日(木)	ディスカッション活動 (まとめ)		GLミーティング/ディスカッション活動運営委員会/ 船内活動小委員会/プレス担当者連絡会		マレーシア紹介
23日(金)	ディスカッション活動 (成果発表会の準備・DG毎のレポート作成)		PYセミナー(1)	PYセミナー(2)	タイ紹介
24日(土)	タイ訪問国活動				
25日(日)					
26日(月)					
27日(火)					
28日(水)	フリーデイ(半日)		PYセミナー(3)	PYセミナー(4)	自主活動
29日(木)	ディスカッション活動 (成果発表会)				ミャンマー紹介
30日(金)	ディスカッション活動 (自己評価)		訪問国活動振り返り<SG毎> (2)		シンガポール紹介
12月 1日(土)	SG活動 (3)		PYセミナー(5)	PYセミナー(6)	
2日(日)	ベトナム訪問国活動				
3日(月)					
4日(火)					
5日(水)					
6日(木)	フリーデイ				COCミーティング
7日(金)					
8日(土)	事後活動セッション I (国別・各国の事後活動紹介)		PYセミナー(7)	PYセミナー(8)	自主活動
9日(日)					
10日(月)	事後活動セッション II (国別プロジェクト案完成・帰国報告会準備)		フェアウェルフェスティバル準備	ベトナム紹介	フェアウェル フェスティバル
11日(火)	下船手続説明	国別ミーティング	荷物移動		
12日(水)	入国手続・荷物審査		帰国報告会準備	帰国報告会	解散式
13日(木)	下船				

ディスカッション活動

この事業における最も重要な活動の一つであるディスカッション活動では、共通テーマ「青年の社会活動への参加」に基づく8つの異なるテーマに分かれ、ファシリテーターの指導のもと、英語でのディスカッションを行う。

目的

各国における様々な分野での課題に対して理解を深め、参加青年間での意見交換を通じて相互理解を促進する。また、本活動を通して英語での思考力・発言力・説明力を養成し、事後活動(事業後に行う社会活動)につなげていく。

船内でのディスカッション活動の様子



発表の機会も多い



話し合いながら進めていく



発表や活動を共に作りあげていく DG メイト



ディスカッションの成果を発表

ディスカッション活動運営委員会

各国単位、加えて DG 単位から選出された参加青年によって構成される。各委員はファシリテーターと協力して DG をリードしていくほか、一連のディスカッション活動の導入・まとめとして開催される発表会の企画運営を行う。



英語でのディスカッションということで初めは圧倒されましたが、他の人の話をよく聴き、落ち着いて自分の意見をまとめることで楽しむことができました。異なる意見や主張は新しい価値観を知るきっかけです。

濱 窄 峻 伍



8つのディスカッションテーマ

参加青年の関心分野に応じて事前に決定され、各グループは40人前後から成る。

DG1：グローバル化の功罪

近年のグローバル化の進展により生じた様々な社会的・経済的な変化を認識し、評価するとともに、将来の望ましい社会像を描き、それに向けて、次代を担う青年としてグローバル化にどう対処すべきかについて議論する。

DG5：質の高い教育

日本やASEAN各国における教育の現状を理解し、その上で、すべての人々に公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進することに、青年がどのように貢献できるかについて議論する。

DG2：情報とメディア

現代のメディアと情報の社会的影響力を理解し、人々が情報を発信するためにいかにメディアを主体的かつ効果的に活用すべきか、また、情報の受け手としていかに注意深く取捨選択すべきかについて議論する。

DG6：レジリエントで持続可能な都市づくり

各国における交通インフラや公共スペース等を含む住環境及び災害の現状と課題について理解した上で、環境に配慮した持続的かつ強靱な都市づくりのために青年がどのように貢献できるかについて議論する。

DG3：国際関係（日本・ASEAN協力）

日本とASEANの現在の協力関係を理解し、その上で、日本とASEANのこれからの協力関係と連携のために、青年がどのように貢献できるかについて議論する。

DG7：ソフト・パワーと青年の民間外交

自国の文化や価値観の強み・魅力を発掘し、軍事力や経済力に依らず、ソフト・パワーを活かして自国及び他の参加国が国際社会において役割を果たすに当たり、青年がどのように貢献できるかについて議論する。

DG4：長寿社会を生きる

高齢者が生きがいを持って健康に生活できる社会の実現に当たってどのような課題があるかを認識し、将来の望ましい社会像を描き、それに向けて次代を担う青年としてどのように貢献できるかについて議論する。

DG8：手頃で信頼でき持続可能なエネルギーの利用

自国及び日・ASEAN地域のエネルギー事情を認識し、その上で全ての人々が手軽で信頼できる持続可能なエネルギーを利用できるようにするために、青年がどのように貢献できるかについて議論する。

事後活動セッション

事後活動とは、参加青年が事業で得た経験をもとに、事業終了後も継続して行う社会活動を指す。本事業の既参加青年から構成されるOBSC(On Board Ship Conference)のメンバーによる助言を受け、参加国毎に計画・実行する。日本も複数の事後活動を計画している。



今年度から新たに使用する事後活動 Go & Grow のロゴは、参加者の出身国や世代を越え、希望や変化をもたらす社会貢献を興す願いの象徴です。

中山智雄
- OBSC



ソリダリティー・グループ活動

ソリダリティー・グループ (SG) とは、船内及び訪問国における活動の基本となるグループであり、日本と ASEAN10 か国の参加青年が集まり構成される。各グループ 30 人から成る SG 単位で参加青年同士の交流を促進する活動で、全 3 回行われた。

目的

参加青年間の交流を促進し、絆を深める。

SG 活動の様子



アイスブレイクゲームで全参加青年がひとつに！



SG ごとに考えたチアを披露



船内を駆け巡る謎解きゲーム



SG 活動小委員会が活動をリード

SG 活動小委員会

各国単位、加えて SG 単位で選出された参加青年によって構成される。SG 活動の企画運営を行う。



ダンスやゲームなど、言語を超えた交流で、SG の仲が深まりました。一緒に泣きながら「We are Unity」という事業で受け継がれている歌を歌ったことが忘れられません。改めて、一期一会の出会いに感謝しています。

神田彩乃



PY セミナー

PY(Participating Youth: 参加青年)が主体となり、それぞれが持っている知識や経験をもとに、自由にセミナーを企画運営する。形式も主催する参加青年に一任され、講義やワークショップ、実演実習など様々である。

目的

各国の参加青年が互いに社会課題や文化等について学び、理解を深めると共に、国際的視野の拡大と意見交換を行う。また、それらを通じて参加青年間の交流を促進する。

参加青年による PY セミナーの様子



書道の紹介と体験(日本)



歌舞伎メイクと現代メイクを体験(日本)



ベトナムコーヒーの奥深さを学ぶ(ベトナム)



起業家精神についてのセミナー(シンガポール)

PY セミナー小委員会

各国単位、加えて SG 単位で選出された参加青年によって構成される。PY セミナーの開催スケジュール決めから、当日の運営までを行う。



PY セミナーでは、フィリピンのクリスマスオブジェ作成やタイのヨガ体験、カンボジアの伝統格闘技体験、ミャンマーの民族衣装体験などの参加を通じて、ASEAN 各国への理解が深まりました。



山内晋平

ナショナル・プレゼンテーション

舞踊、音楽、演劇などを通して様々な角度から自国の文化や歴史、青年を取り巻く社会の実情を趣向を凝らし、75分間で紹介する。ASEANの多様性に感銘を受けると共に、自国について向き合う大切な機会となっている。

目的

11の参加国の文化・伝統・歴史・国民性・現在の青年を取り巻く環境などを国ごとに紹介し、学びあい、相互理解を深める。

参加青年による NP(National Presentation) の様子



香川、高知、岩手の民族芸能を披露(日本)



ココナッツを使ったダンス(カンボジア)



圧巻のジャワ舞踊(インドネシア)



コミカルでモダンなパフォーマンス(タイ)



私たちにとって NP は最初の大きな関門でしたが、短い準備期間の中で、各青年が持つ特技や地域性を発見、発掘し、融合させることができたからこそ、あの夜のおふれんばかりの喝采があったのだと思います。

中野晃介



カルチャーナイトとも呼べる NP は最も楽しみにされているイベントの一つです。伝統的な民族衣装を身にまとい、歌やダンスで船内をその国色に染め上げる参加青年たちの新たな一面に出会えます！

松尾拓海



自主活動

VA: Voluntary Activity(自主活動)では、参加青年が興味や関心を持ったことについて自由に企画運営し活動を行う。自国の名産品を紹介するものから、参加青年間の交流を深める企画などバリエーションに富んだイベントを楽しむことができる。

目的

参加青年が自ら考え、発信する力をつける。

参加青年による VA の様子



茶道体験では抹茶とお茶菓子を紹介(日本)



協賛頂いた品々を提供しアンケートを実施(日本)



リサイクルファッションショー(フィリピン)



ヒन्दゥーのお祭りディパバリ(シンガポール)

その他にも、たくさんのVAが参加青年の企画により行われました！

<日本青年> 四国フェスティバル、日本の米と農業・餅つき体験、浴衣体験、箏・三味線体験、すいかわりなど

<外国青年> Voice of Nippon-Maru(のど自慢大会)、Dance Battle、タイマッサージなど



日本青年にも外国青年にも楽しんでもらえる和楽器との出会いをつくりあげたくて。企画段階から当日箏を弾いてもらうまで試行錯誤を重ね、私自身もわくわくしっぱなしでした。

高橋文加



VAはどれも、アイデアと個性と才能が溢れる企画ばかりでした。参加や時間の使い方は自由なので、気軽に参加しても居心地が良く、新たな発見に出会える空間でした。

前島俊



船内での生活

参加青年のホームとなる船での生活。基本的に、同じソリダリティー・グループの同性3人でキャビンシェアする。デッキから眺めた朝日、キャビンで一晩中語り合った夜、全てがかけがえのない思い出である。これこそが共同生活の醍醐味である。

7:00 起床

各SGが持ち回りでモーニングコールを行う。



9:15 モーニング・アセンブリー

全参加青年の体温と出欠確認、連絡事項の伝達が行われる。

10:00 ディスカッション活動



8:00 朝食

1日の流れ(例) 7 8 9 10 11 12 13 14

7:30 フラッグホイスティングセレモニー

モーニングエクササイズ

寄港地に到着する朝には全員出席での国旗掲揚式を行う。通常の朝は各SGが持ち回りでエクササイズを企画する。



13:00 昼食

食事は日替わりのビュッフェ形式。新しい友達との会話を楽しむ。



午前の活動へのエネルギーをつけるためにも、眠くても朝ごはんは欠かせません。美味しい食事を味わいつつ何気ない会話をするゆったりとした時間こそが、友人との仲を深めるのに有効なのだと気づきました。

新居真由香



19:30 ナショナル・プレゼンテーション

民族衣装を交換し合うなどして、友人と誘い合って観に行く人が多い。

14:15 PY セミナー



21:00 フリータイム

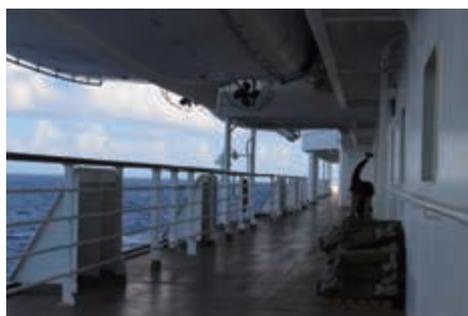
入浴をしたり、友人と語り合ったり、ゆっくり過ごす時間。VA が開催される夜は大いに盛り上がる。

18:00 夕食

1 5 1 6 1 7 1 8 1 9 2 0 2 1 2 2 2 3

17:00 フリータイム

各々好きなように時間を使えるが、ミーティングや発表の練習をすることも多い。コンティンジェントボードと呼ばれる連絡板で情報共有や手紙の交換ができる。



23:00 就寝

各SG 持ち回りのナイトコールがかかり、全員がキャビンに戻る。



船内では意外と自由時間が多くあります。デッキでヨガをしたりウクレレを弾いたり、夜はいろいろな PY と会話をして過ごす中で、自分自身についてやコミュニケーションについて見つめる機会になりました。



前田瞳